



NEWS RELEASE

November 7, 2011

EVE、ZeBu-Blade2

ハードウェア支援型検証プラットフォームを発表

40nm テクノロジーを採用した業界初の論理エミュレータが、比類なきスピードのハードウェア/ソフトウェア統合を実現し、検証にかかるコストと期間を *Blade* の如く削減

米国カリフォルニア州サンノゼ— 2011年11月7日 — ハードウェア・ソフトウェア協調検証のリーダーである [EVE](#) は本日、Xilinx Virtex6-LX760 FPGA をベースにした初の ZeBu エミュレーション製品である、ZeBu-Blade2 ハードウェア支援型検証プラットフォームを発表しました。

ZeBu-Blade2 は、40 ナノ・メートル(nm)半導体テクノロジーを用いて実現された、業界初の ASIC および SoC 向け論理エミュレータです。シリコン実現に先行してハードウェア/ソフトウェア統合を実施可能にする高速実行と、魅力ある価格付けで、設計チームに貢献します。

「ZeBu-Blade2 は、その名前の通り、刃のように、費用と期間を切り去ります。」
EVE-USA 社長兼マーケティング VP の Lauro Rizzatti は、最高 40 メガヘルツ(MHz)に達する高速エミュレーション性能が設計者のニーズに即していることにも触れています。
「ZeBu-Blade2 はさらに、競争力に優れた価格帯、運用と設置に要する費用の少なさ、そして、一日あたりより多くの実行回数で貢献します。」

ZeBu-Blade2 はシングル・ユーザ向けエミュレータで、5 個もしくは 9 個の LX760 FPGA が搭載された二つのバージョンがあり、それぞれ 18 ミリオンもしくは 32 ミリオン ASIC ゲートのデザイン容量をもちます。この容量は、EVE 社の調査結果によると、現在の ASIC デザイン規模の 70%をカバーします。ハードウェア記述言語(HDL)、C、C++、もしくは SystemC ベースの、サイクルレベルもしくはトランザクションレベルのテストベンチとのコ・エミュレーション、論理合成可能テストベンチでのエミュレーション、ターゲット・システムを用いたイン・サーキット・エミュレーション(ICE)で使用できます。ZeBu-Blade2

は、容易なセットアップ、高速コンパイル、トランザクションベース コ・エミュレーションおよび ICE 双方での高速実行速度が大きな特長です。

ZeBu-Blade2 は、効率的な解析のためのスタティック、フレキシブル、ダイナミックの 3 つのタイプのプローブ、高速波形生成、あらゆるメモリへのインタラクティブな読出しおよび書込みアクセス、そしてあらゆるレジスタへの読出し/フォース/リリースなどを含む、豊富なデバッグ機能をもっています。デザインの全ステートをわずか数秒でダンプし再書き込みできるセーブ・リストア機能、**System Verilog** アサーションのサポート、そして高速トランザクタによるモニタ/チェッカによって、**ZeBu-Blade2** のデバッグ能力はさらに強化されます。600 本の非分割かつ電圧可変 I/O 端子をもつ **ZeBu-Blade2 Direct-ICE** インタフェースを介して、エミュレーションされるデザインが、ターゲット・ハードウェア・システムと接続される場合には、**ZeBu** に予め実装されているロジックアナライザを用いてフル・スピードでのデバッグをおこなえます。スタティックおよびプログラマブルなトリガ機能を、デザイン内のあらゆるレジスタもしくは信号に対して生成できます。

ZeBu-Blade2 は、RTL デザインを、最大 16 非同期基本クロック入力および無制限の内部生成クロックとともに、タイミング違反発生を防ぐクロックツリー配線アルゴリズムでコンパイルします。コンパイル・ソフトウェアが、RTL コードからコンパイル済 FPGA ビットストリームを生成するまでにかかる時間は、小規模 PC ファームを用いて 3 時間以下です。

ZeBu-Blade2 では、他の **ZeBu** 製品と同様に、メモリモデル、汎用プロトコル向けの高速度ハードウェアトランザクタ、および速度変換アダプタで構成される、広範な検証 IP を利用できます。カスタムトランザクタについては、**SCEMI 2.0** に対応する **DPI-C** 標準をベースにしたユニークな **System Verilog** 動作合成コンパイラである、**EVE** の **ZEMI-3** を用いて生成できます。

ZeBu-Blade2 には、これまでの **ZeBu** と同じく、ハードウェア開発プラットフォーム (**HDP**) とソフトウェア開発プラットフォーム (**SDP**) の二種類の構成があります。**SDP** では、組み込みソフトウェアの検証時には不要となるハードウェアデバッグ機能をなくすことで、エミュレータの導入コストが半額になります。

デスクトップサイズの筐体と PC 同等の省電力性をもつ **ZeBu-Blade2** は、高速合成の **zFAST** および **ZeBu** トランザクタのセットの形態で、即時出荷可能です。価格についてはお問い合わせください。

ZeBu-Blade2 は、世界に先駆けて初めて、11 月 16 日から 18 日にかけて横浜で開催される **EDSFair2011 Nov.** で展示されます。

EVE について

EVE は、高速トランザクションベース・エミュレーションとインサーキット・エミュレーションを中核とする、ハードウェア/ソフトウェア協調検証ソリューションの世界的な

リーダーです。トップ6の半導体企業のうち5社で採用されています。EVE製品は複雑なICと電子システム設計の検証サイクル全体を短縮します。その製品は、ソフトウェアデバッグ、ターゲットとなるハードウェアシステム、そしてそれらと同様に Verilog、System Verilog、そして VHDL シミュレータと、トランザクションレベル ESL ツールを結合できます。EVEは、OCP-IP、ARM、Mentor Graphics、Real Intent、Springsoft および Synopsys のパートナー・プログラムのメンバーです。Twitter では www.twitter.com/EVETEAM および Facebook では <http://tiny.cc/hykrzr> で EVE をフォローできます。アメリカ本部は、カリフォルニア州サンノゼにあります。電話：(408) 457-3200、FAX: (409) 457-3299。本社はフランスのパレゾにあります。電話: (33) 1 64.53.27.30。FAX: (33) 1 64.53.27.40。Email: info@eve-team.com Website: <http://www.eve-team.com>

EVE は、各製品名およびサービスの商標および登録商標を承認します。

お問い合わせ先

詳細については、下記までお願いいたします。

EVE USA 本社長 兼	ワールドワイド・マ	EVE 向け広報活動担当
ーケティング VP		ナネット コリンズ
ラウロ・リザッティ		(617) 437-1822
(408)457-3201		nanette@nvc.com
lauro@eve-team.com		

日本イヴ株式会社

広報担当 js@eve-team.com

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-17 KAKiYA ビル 4F

TEL : 045-470-7811 FAX:045-473-7814

www.eve-japan.co.jp